

ホームレス・貧困問題を解決し、誰もが生きやすい社会をつくる



誰もが生きやすい社会をつくる ホームレス・貧困問題を解決し、

ビッグイシュー基金は、ホームレスの人々の生活サポートを軸に
貧困問題解決を目指しています。

人は、仕事と住まいを失うだけでは「ホームレス」になりません。
頼れる人とのつながりや希望を失って孤立した時、
hopeless になり homeless になると、私たちは考えています。

〈誰も排除しない・孤立しない〉社会を目指して。
私たちの取り組みに引き続きご参加をよろしくお願いいたします。

平素よりお力添えをいただき、ありがとうございます。

21世紀が始まって四半世紀になりますが、世界を見渡すと「私たちはどこでボタンをかけ間違えたのか」と思わざるをえない現実が広がっています。

日本も例外ではなく、分断と対立を煽る言説が力を持ち、私たちの目指す「包摂社会」に逆行する動きが強まっています。

明るい兆しを見つけることすら困難に思うこともありますが、そんな時には今年2月に亡くなられた枝元なほみさんの「人とつながって分け合って初めて、生きていくための希望が、遠くにかすかにでも見えるのじゃないか」という言葉を思い出します。

希望はどこか外にあるのではなく、目の前にいる人とつながる、分け合うという実践からしか生まれない。そのことを肝に銘じて、実践を続けていきたいと思います。



認定NPO法人
ビッグイシュー基金
共同代表 稲葉 剛

いつも温かいご支援をいただき、ありがとうございます。

現代社会の矛盾が鋭敏に現れるホームレス問題をとり巻く構造は、かなり以前から変化しており、しかもその上に地球温暖化が重なってきました。

そんな状況のなか、共同代表の枝元なほみさんが、今年2月に逝去されました。難問山積みの理事会で枝元さんが発言されると、不思議なことに座が一気に明るくなり、みなが勇気をもらいました。

日々の課題の奥に、時代の変化を探りながら、枝元さんの無比のアイデアに並ぶものを創りだすのは難しいことに違いないのですが、われわれが挑戦しなければならない課題だと思っています。



認定NPO法人
ビッグイシュー基金
共同代表 米本 昌平

活動の3本柱

基金は、誰もが生きやすい包摂社会を目指し、3本柱の応援事業を行っています。

詳細は
04p.~

1. つながって生きる ― ホームレスの人、生活困窮者の自活・自立応援プログラム

当事者への情報提供と交流…『路上脱出・生活SOSガイド』の制作／配布を通し、当事者が支援につながるための情報提供を行っています。また、定例サロンやパーティなど当事者同士やボランティアが交流する機会をつくっています。

生活自立応援…他団体や専門家と連携して、住宅・就業・生活・法律・福祉などの困りごとを相談できる機会をつくるほか、病院や行政機関への同行支援を行っています。

仕事・就業応援…寄付品の衣料や熱中症対策グッズの提供、プロボノの協力を得たヘアカット、コーチングの場などを通して、路上で働く人々を応援しています。

スポーツ・文化活動応援…ホームレス状態の人が仲間とつながれる場として、スポーツ・文化活動を応援しています。

詳細は
07p.~

2. 生きやすい社会をととのえる ― 貧困問題解決のネットワークづくりと政策提案・実験的事業

一時居所の実験的運用と政策提言…空き家・空き室を活用した一時居所の運営や家賃補助などの実験的事業に取り組むほか、住宅問題についての各種調査や政策提言を行っています。

社会的不利・困難を抱える若者の応援…若者のホームレス化予防のため、社会的不利・困難があっても働きやすい仕事の間をつくる試みとして「夜のパン屋さん」を開いています。

詳細は
09p.~

3. 市民が社会をつくる ― ボランティア活動と市民参加

ボランティア活動の推進…ボランティア希望者向けの説明会を開催し、日本のホームレス問題の現状や、基金の活動について紹介しています。

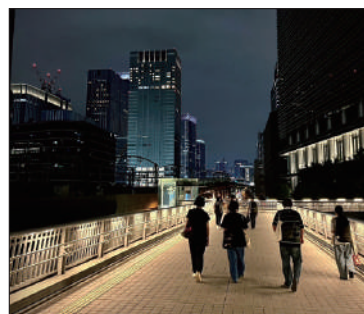
市民参加の促進…会報「ビッグイシュー基金通信」を掲載した雑誌『ビッグイシュー日本版』が届く特典付きの応援会員制度のほか、税制優遇の対象となる寄付メニュー、企業・団体向けの「社会再生サポーター」など、広く市民の皆様に参加してもらえる仕組みを整えています。



路上脱出・生活SOSガイド



一時居所「ステップハウス」



ボランティアも参加する夜回り活動

つながって生きる

— ホームレスの人、生活困窮者の自活・自立応援プログラム

1. 当事者への情報提供 — 『路上脱出・生活 SOS ガイド』

『路上脱出・生活 SOS ガイド』は、ホームレス状態の人が、今日を生きのびて自立への道を歩めるようになるために必要な情報をまとめた冊子です。『ガイド』の無料配布を通じて、必要な人が支援につながれるよう情報提供を行っています。

大阪編、東京 23 区編は冊子版と Web 版があり、基金 HP から無料で閲覧が可能です。第 18 期、Web 版は月間平均で 1.85 万回*閲覧されました。

※参照：Google Analytics ガイドページ全体の合計ページビュー（2024/9/1～2025/8/31）



大阪編



東京 23 区編

■ 『ガイド』 冊子版の配布先が拡大

第 18 期は、夜回りやイベントでの配布のほか、協働団体や役所、教会や寺院、図書館、市民などからの送付依頼を受けて、大阪編・東京 23 区編合わせて 4,334 部の冊子を配布しました。東京 23 区編は新たに墨田区の銭湯での配布も開始し、配布先が広がりました。また、学校関係者の方から「人権・貧困に関する授業で配布したい」という声も寄せられました。

■ 『ガイド』 Web 版に生成 AI 経由でのアクセスが増加し、相談内容が多様化

2025 年に入り、ChatGPT などの生成 AI を通じて基金 HP を閲覧する人が増えています。それに伴い、介護、障害福祉などホームレス支援の枠組に留まらない相談が寄せられています。

2. 「つながり」をつくる活動

ホームレス状態の人や路上生活経験者、ボランティアが集まる定例サロン・パーティを開催しました。1 月は書初め、8 月は縁日など、季節に合わせた定例サロンに、のべ 293 人が参加しました。

さらに東京では、近年基金の事業が多方面に広がったことを受け、ビッグイシューを通してつながった人たちが混ざり合い交流する場を企画。2025 年 3 月に「ビッグイシュー BBQ 大交流会」を開きました。

毎年 12 月の恒例行事「大阪ホームレスクリスマスパーティ」には、当事者や市民 100 人以上が集まり、音楽ライブやワークショップ、盆踊りを楽しみました。



書初めサロン（大阪）



ビッグイシュー BBQ 大交流会（東京）
Photo：浅野カズヤ



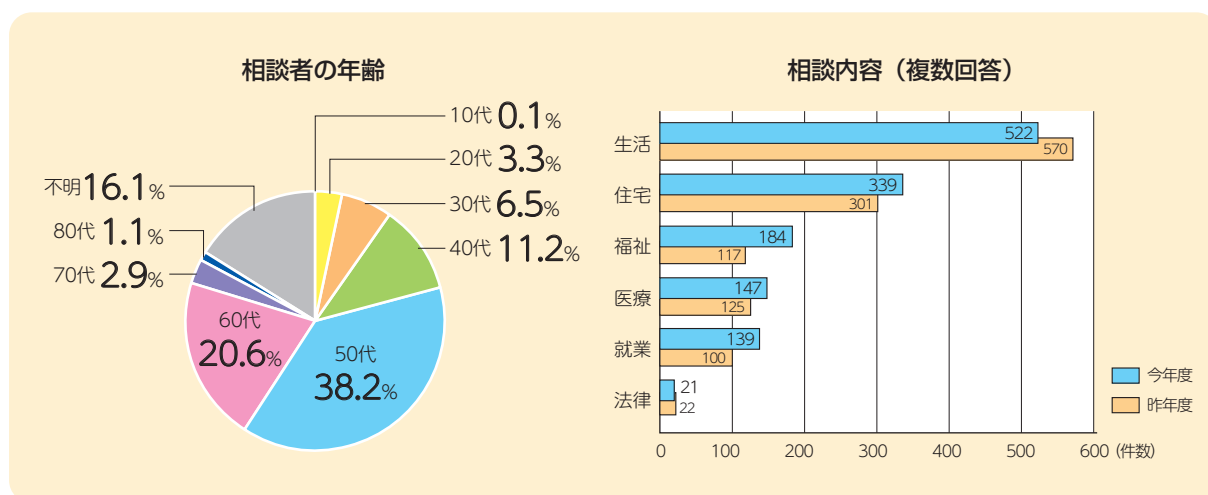
ホームレスクリスマスパーティ（大阪）
Photo：草田康博

3. 相談機会の提供

■ 気候危機や物価高騰を背景に相談件数は高止まりし、内容も複雑化

新型コロナの流行以降、基金への相談件数は毎期 1,000 件を超えています。気候危機や物価高騰が重なり、住まいのある人・制度につながっている人からも「食べるものがない」「住まいを失いそう」という相談が増えました。

相談者の年齢層は 10 代～ 80 代までと幅広く、50 代・60 代が 6 割弱を占めます。女性からの相談は全体の 1 割弱（前年度比 +1.5%）ありました。相談内容では、特に「福祉」「就業」「住宅」に関する相談が増加。「仕事が決まったが、入社前の健康診断でひっきり働きなくなってしまった」、「家族の虐待から逃げてきた」、「外国籍で制度が利用できない」、「施設的环境が合わず、路上に戻ってしまった」、「出所後に住むところがない」など、多岐にわたりました。DV や依存症など複雑化した相談については、専門団体・機関と連携してサポートしました。



■ 「寒すぎて公園で寝てられない」9 連休となった年末年始の越年・越冬支援

日雇いの仕事が減り、行政の支援が手薄になる年末年始期間、日常的に関わりのあるホームレス状態の人にネットカフェなどでの宿泊費サポートを行い、7 人が利用しました。また、借り上げシェルターには 3 人が宿泊しました。

大阪では、基金が参加する困窮者支援団体ネットワーク「住まいとくらし SOS おおさか」にて緊急相談窓口を開設し、宿泊先や食料の提供など 40 件以上の相談に対応。

さらに、全国 10 の連携団体にカンパを行い、夜回りや炊き出し、居場所づくりなど各地の活動を応援しました。

■ 猛暑を乗り切るためのエアコン設置サポートを実施

健康を脅かす猛暑の中でも安全に過ごせるよう、路上生活から脱して住まいを得た人を対象にエアコン設置費用の一部補助を呼びかけ、1 名が利用しました。

路上生活状態の人のサポートと合わせて、家計管理や部屋の清掃など路上を脱出したあとの生活環境を整えるプログラムも随時進めています。

4. スポーツ・文化活動プログラム

ホームレス状態の人、路上生活を経験した人が生きるよろこびを見つけ、仲間とともに活動できる当事者主体のスポーツ・文化活動を、広報や活動場所の確保などを通じて応援しました。

■「歩こう会」150 回記念イベント開催

「歩こう会」は、雑誌販売者の H さんとボランティアメンバーを中心に活動する街歩きクラブです（2007 年にスタート）。

2025 年に 150 回目を迎えたことを記念して、4 月に浜寺公園（大阪・堺市）を散策する会を開催し、路上で働く仲間やボランティアなど 28 人が参加しました。行き帰りには路面電車を貸し切り、これまでの歩みを振り返るひとときを持ちました。



Photo：木下良洋

■ 昨年に続き、ホームレス W 杯の代表派遣を応援

ホームレスサッカーチーム「野武士ジャパン」の活動を、NPO 法人ダイバーシティサッカー協会と連携して応援しました。定例練習会の実施や交流戦への参加に加え、2024 年 9 月のホームレス W 杯※韓国大会、2025 年 8 月の同ノルウェー大会への代表選手の派遣に協力。日本代表チームのファンドレイズやチームづくりを応援しました。

※ホームレス W 杯…毎年各国で開催される、ホームレス状態の人が一生に一度だけ参加できるミニサッカーの大会

■ まだまだあります！東西で多彩な文化活動



活動 6 年目の講話部は月に 1 度「講話会」を開催



「新人 H ソケリッサ！」がインドで公演



家庭菜園部が育てた朝顔は 3 シーズン目を迎えました



茶道部が夏祭りでお茶の振る舞い

5. 仕事・就業応援プログラム

第 18 期は、有限会社ビッグイシュー日本との連携をさらに深め、雑誌『ビッグイシュー日本版』販売の仕事を多面的に応援しました。

大阪では、仕事に関する悩みなどを傾聴し、問題整理のサポートをしてくれるコーチングのプロボノによるセッションを 10 回開催し、のべ 14 人が参加。東京では、プロボノの美容師の協力のもと、身だしなみを整えるヘアカットプログラムを 6 回開催し、のべ 16 人が参加しました。

■ 寒さ・暑さ対策グッズを雑誌販売者に提供

食品・衣料品、お風呂券などを随時配布するほか、冬場はカイロや防寒シート、夏場は塩分タブレットや飲料、汗拭きシート、日よけグッズなどを提供しました。

生きやすい社会をととのえる

—— 貧困問題解決のネットワークづくりと政策提案・実験的事業

現場の活動で見えてきた社会課題を考えるために、実験的事業や調査・提案の活動に取り組んでいます。

1. 暮らしの基盤をつくる —— 住宅問題の実験的事業

増え続ける「空き家」と住宅困窮者のマッチングを模索する住宅問題の実験的事業では、大阪、東京で一時的な住まい 15 室を運用しました。

■ 空き室活用と自治会の活性化を目指す「あまやどりハウス」

基金は、市営住宅の空き室活用と自治会の活性化を目指す「あまがさき住環境支援事業」に参加し、月 6,500 円の利用料で 1 年間住める「あまやどりハウス」8 室を設け、第 18 期は 16 人が利用しました。

あまやどりハウスの利用者は、路上やネットカフェで生活をしていた人、紛争地域から逃れてきた外国籍の人などさまざまです。自治会が主催する清掃活動や餅つき大会、夏祭りなどのイベントにも参加し、地域の方と交流しながら生活再建をはかります。

2025 年 8 月のホームレス W 杯ノルウェー大会に出場した A さんは、数年の路上生活を脱してあまやどりハウスに入居し、住民登録やパスポートの取得などを進めました。



■ 支援団体などの視察を受け入れ

空き室活用や住居支援の実例として、「あまやどりハウス」の視察を受け入れました。

受け入れ団体：大阪弁護士会 人権擁護委員会、NPO 法人地域と協同の研究センター、日本コープ共済生活協同組合連合会、広島修道大学など

■ 積立を通して次のステップを目指す「ステップハウス」

ステップハウスは、利用料とともに定額の積立金を支払いながら、1 年間利用できる住まいです。第 18 期は大阪・東京で 5 人が利用しました。

ステップハウス利用者の B さんは、利用後に自身で住まいを確保し、新生活をスタート。基金では、引越しの手伝いやカーテンなどの備品の購入補助を通じて、新生活を応援しました。



■ 値上がりや猛暑によりシェルター利用のニーズが増加

民間の空き室を借り受けて、短期的に利用できるシェルターを、大阪・東京で計 4 室設けています。DV 被害からの避難先、体調不良・悪天候時の休息場所、次の仕事や福祉制度につながるまでの居場所として活用され、第 18 期はのべ 130 件の利用がありました。物価高騰のあおりでネットカフェやサウナなどの施設も値上がりしており、ゆっくり休むことができるシェルターのニーズは年々高まっています。



2. 新しい仕事づくりの実験的事業——「夜のパン屋さん」

新しい仕事づくりの実験的事業として、フードロスの削減と仕事の場づくりを目指すプロジェクト「夜のパン屋さん」は、2024年12月に三軒茶屋にて新店舗をオープンし、都内4店舗を営業しています。前17期に続き、自主イベント「夜パンカフェ」を開催。協力団体や働く人が増え、活動が広がっています。

■ 1年で4.5万個のパンをお預かりし、18人に仕事を提供

第18期は、全国各地のパン店29店舗の協力を得て、45,872個の売れ残りそうなパンをお預かりし、代理販売しました。夜のパン屋さん店頭で売り切れなかった1,101セットのパンは、基金や連携する困窮者支援団体などを通じて必要な人へ無償で提供しました。

パンのピックアップやラベリング、店頭での販売などの仕事は、路上生活経験のある人、ひきこもり経験のある人など多様なメンバーが担い、のべ18人が働きました。



三軒茶屋店は、廃棄物ゼロを目指すお店『つるかめ商店』さんの軒先で営業中

■ 夜パンカフェの協力団体が増え、より多彩に

多様な人が出会い、つながれる場づくりを目指し、けやきの森の季楽堂（東京・練馬区）で自主イベント「夜パンカフェ」を計6回開催しました。第18期は連携団体の協力のもと、社会的困難を抱える若者たちが接客や販売を担ったり、練馬区内の障害者施設に通う方々の手づくり品を紹介する「ねりいち」のブースが初出店したりと、つながりが広がり、深まった1年でした。

【夜パンカフェ 協力団体】

特定非営利活動法人わかちあい練馬／一般社団法人つくろい東京ファンド／認定NPO法人育て上げネット／特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク／社会福祉法人練馬区社会福祉協議会

■ エダモンメモリアル

2025年4月のカフェでは、料理研究家で、夜のパン屋さんプロジェクトの発起人・枝元なほみさんのメモリアルコーナーを設置。写真や花とともに、枝元さんがいつも身に着けていたターバン、愛用のお鍋やポットなどのキッチングッズ、レシピブックなどを展示しました。

来場者からのメッセージコーナーには「楽しそうにお料理されている姿が印象的でした」「みんなが温かく集える場をありがとうございました」など、たくさんのメッセージが寄せられました。



Photo：浅野カズヤ

■ 「夜のパン屋さん」主なメディア掲載・出演情報

メディアやSNSでの発信が広がり、活動に関心を持ってくださる方が増えました。

- ・2024年10月 NHK 総合「所さん!事件ですよ」
- ・2025年2月 TBS ラジオ「サステバ」
- ・2025年5月 毎日新聞朝刊
- ・2025年5月 TOKYO FM/JFN「ONE MORNING」
- ・2025年8月 テレビ朝日「しあわせのたね。」

ほか、WebメディアやYouTubeなどにも多数取り上げていただきました。

市民が社会をつくる

——ボランティア活動と市民参加

1. ボランティア参加の受け入れ

ホームレス問題や貧困問題、ビッグイシューの活動について知ってもらうため、「ボランティア説明会」をオンラインで開き、第18期は新たに46人がボランティアに登録しました。部活動や夜回り、健康相談、コーティング、ヘアカットなど、それぞれの関心や専門性を活かして多くのボランティアが活動に参加しました。

■ 夜回りボランティア「いつも見過ごしていた風景が違ったように映った」

東京では、路上や公共施設などで過ごす人に、『路上脱出・生活 SOS ガイド』や寝袋、保存食、テレホンカードなどを手渡す「夜回りボランティア」を毎月募集しています。「平日は仕事があり参加が難しい」という声を受け、第18期は第3月曜日に加えて第4土曜日の夜回りも開始しました。

夜回り後、ボランティア参加者からは「自分に何ができるのか、もやもやしています。でも、このもやもやを持続するのが大事なかもしれないと思います」といった感想が寄せられました。

また、夜回り前には活動紹介の時間を設け、東京におけるホームレス支援の歴史に関するレクチャーや、『ガイド』を活用した支援活動のシミュレーションワークを実施しました。

2. 広報、講演・講義

■ 広報

会員向けの基金だよりや基金通信「希望前線」（雑誌『ビッグイシュー日本版』掲載）を各24回発行しました。また、基金HPでの広報や、Facebook、X、InstagramなどSNSでの発信も強化しました。

■ 周知・拡散へのご協力ありがとうございました

SNSなどを通じて、多くの皆様に事業の周知・拡散のご協力をいただきました。特に、年末年始の支援情報（12月公開）と熱中症対策グッズの募集（6月公開）、『路上脱出・生活 SOS ガイド』はたくさんの拡散協力をいただきました。困っている人に情報を届ける活動へのご参加、ありがとうございました。



■ 講演・講義

学校関係者の皆様よりご依頼いただき、雑誌販売者とともにホームレス問題やビッグイシューの取り組みについて紹介しました。

- ・大阪大学「Social Innovation and Social Design」
- ・大阪府立豊島高校「テーマ別人権学習」

雑誌の路上販売で生計を立てるKさんは高校生に「自分は困った時に誰にも相談できなかった。皆さんは家族や身の回りの人を大切にして、困った時にはすぐに誰かに相談してほしい」とメッセージを送りました。



3. 寄付参加プログラム——市民応援会員、メニュー寄付、任意寄付、物品寄付

市民応援会員や寄付といった、目的や用途を限定しない資金に支えられ、第18期も活動を継続することができました。ご参加いただいた皆様に、あらためて心より感謝申し上げます。

市民応援会員と寄付参加者はのべ5,689人、合計金額は6,600万円となりました。また、遺贈・相続寄付のお問い合わせも多く寄せられました。

さらに、基金HPにおけるクレジットカード不正利用への対策強化や、領収書発行作業の円滑化のための決済システム変更にも取り組みました。

■ 会員・寄付者の内訳

・市民応援会員

にっこり(299人)／ひとり立ち(68人) 計367人(会費金額788.5万円)
企業・団体サポーター計2件(会費金額125万円)

会費金額合計：913.5万円

・メニュー寄付

出会い(177人)／つながりウォーク(205人)／
実践応援ラン(92人)／社会包摂マラソン(50人)／
市民信頼社会(45人)

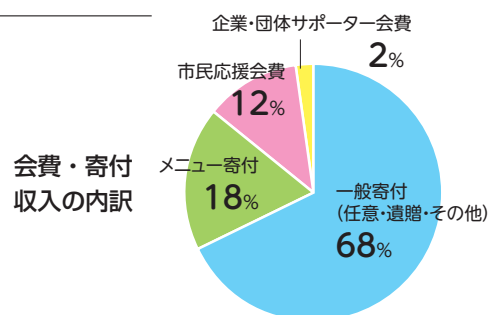
計569人、寄付金額合計：1,177.5万円

・任意寄付

任意寄付は4,553件、遺贈・大口寄付は12件、その他寄付(チャリボンなど)は186件
のべ4,751件、寄付金額合計：4,509万円

・マンスリー寄付

年間で389人登録、寄付金額年間合計：911万円



■ 物品寄付

継続的に応援いただいている企業や連携団体、たくさんの市民の方から、食料品や衣料品、生活用品などを寄贈いただき、1年で734件の物品寄付が届けられました。寄付物品は、夜回りなどで出会う人や、事務所を訪れる相談者に手渡しました。

SNSで熱中症対策グッズの募集記事が拡散された結果、「Amazonほしい物リスト」を通じて、汗拭きシートなど500件を超える寄付が寄せられ、当事者、スタッフともに元気をいただきました。



■ 古本やDVDなどで「ホームレスの自立を支援」—チャリボン

書籍などを株式会社バリューブックスに送ることで、買い取り相当額分をNPOに寄付できる仕組みの「チャリボン」を通じて、2013年4月から2025年8月末までの間に5,161人から1,171万5,719円分のご寄付がありました。

4. ありがとうございました——市民・組織・団体・企業のご協力とご参加

【助成金】

公益財団法人パブリックリソース財団／東京アンブレラ基金（一般社団法人つくろい東京ファンド）／
一般財団法人浪速友愛会

【企業・団体寄付】

ES Global Japan 株式会社／UBS 証券株式会社／こども富貴堂／一般社団法人日本フラメンコ協会
／株式会社イー・エヌ・アイ／株式会社ブレインイグニション／宗教法人 法心寺／宗教法人カトリック・
ノートルダム教育修道女会／新宿ダイアログ／有限会社 K・R プランニング

【寄付サイトからの寄付】

公益財団法人パブリックリソース財団（ギブワン、<https://giveone.net/>）
株式会社バリューブックス（チャリボン、<https://www.charibon.jp/>）

【物資の寄付】

UBS 証券株式会社（食品、衣類、日用品など）／認定 NPO
法人フードバンク関西（食品）／生活協同組合コープこうべ
大阪北地区本部（食品）／損害保険ジャパン株式会社京滋自
動車営業部（食品）／子ども・若者支援プラットフォーム（愛
称：HOPE）（食品、テレホンカードなど）／特定非営利活動
法人静岡県ボランティア協会（食品）／一八亭（食品）／公益
社団法人日本臓器移植ネットワーク（食品、タオルなど）／
玉露園食品工業株式会社（食品）／飛鳥・榎原ユネスコ協会（テレホンカード）／有限会社佐渡製
作所（衣類）／公益社団法人日本ユネスコ協会連盟（テレホンカード）／IDEC 株式会社（食品）／
Klumaru Tea（食品）／有限会社ロングライド（衣類）／一般社団法人日本フラメンコ協会（衣類）



【各地のサポーター組織】

ビッグイシューさっぽろ／仙台ビッグイシューソサイエティ／NPO 法人仙台夜まわりグループ／NPO
法人萌友（仙台）／木曜パトロールの会（横浜）／ビッグイシュー販売立川グループ／真宗大谷派聞善
寺（金沢市）／ビッグイシュー名古屋ネット／NPO 法人釜ヶ崎支援機構／NPO 法人岡山きずな／ビ
ッグイシュー福岡サポーターズ／ビッグイシューくまもとチーム／ビッグイシューかごしまサポーターズ

【健康相談会の開催ご協力】

大阪府保険医協会／歯科保健研究会／新宿保健医療班／はりねずみのハリー鍼灸院

【その他】

グーグル合同会社／株式会社セールスフォース・ジャパン

決算報告

第 18 期の市民応援会員、寄付、助成金、事業収益などの経常収益は 7,883 万円となりました。

会員・寄付者の皆様の応援に加えて、「夜のパン屋さん」の事業収益、複数件の遺贈・相続財産のご寄付など、さまざまな形でのご参加がありました。この結果、正味財産増減額は△ 311 万円となり、前 17 期の繰越金 1 億 5,464 万円をあわせ、1 億 5,153 万円の繰り越し余剰金を計上しました。次年度への繰越金は、「夜のパン屋さん」など路上での仕事応援事業の拡充、当事者の脱路上と路上化予防のための住宅確保応援事業、大阪の事務所移転を兼ねた交流サロン創設の実現などに活用します。

【活動計算書 2024年9月1日から2025年8月31日まで】

科 目		金額（単位：円）	
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	130,000		
賛助会員受取会費	9,135,000		9,265,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金	56,866,076		56,866,076
3. 受取助成金等			
受取助成金	1,458,610		1,458,610
4. 事業収益			
パン事業収益	9,939,473		
生活自立応援事業収益等	973,432		10,912,905
5. その他収益			
受取利息	155,927		
雑収益	177,801		333,728
経常収益 計			78,836,319
II 経常費用			
1. 事業費			
人件費			
給料手当	18,384,129		
臨時雇賃金	9,790,599		
法定福利費	3,061,107		
通勤費	1,517,858		32,753,693
その他経費			
売上原価	5,674,297		
業務委託費	3,269,393		
諸謝金	1,285,441		
印刷製本費	544,807		
会議費	922,420		
旅費交通費	3,544,461		
通信運搬費	2,125,162		
消耗品費	2,459,400		
家賃（光熱費含）	3,474,195		
賃借料	6,214,635		
減価償却費	459,167		
保険料	228,398		
諸会費	20,000		
租税公課	5,000		
研修費	74,345		
広報費	3,110,400		
会報費	3,672,760		
寄付金	270,000		
衛生費	5,552		
支払手数料	210,334		
入居初期費用支援金	99,000		
雑費	768,895		38,438,062
事業費 計			71,191,755
2. 管理費			
人件費			
役員報酬	1,800,000		
給料手当	4,286,138		
臨時雇賃金	0		
法定福利費	721,084		
通勤費	227,418		
福利厚生費	50,632		7,085,272
その他経費			
印刷製本費	25,897		
会議費	0		
旅費交通費	1,723		
通信運搬費	774,222		
消耗品費	25,411		
家賃（光熱費含）	182,852		
賃借料	228,258		
減価償却費	26,618		
諸会費	307,600		
租税公課	1,200		
研修費	0		
支払手数料	1,942,110		
雑費	16,500		3,532,391
管理費 計			10,617,663
経常費用 計			81,809,418
当期経常増減額			△ 2,973,099
III 経常外収益			
経常外収益 計			0
IV 経常外費用			
経常外費用 計			0
非収益事業繰入支出			0
収益事業繰入収入			0
税引前当期正味財産増減額			△ 2,973,099
法人税、住民税及び事業税			140,000
当期正味財産増減額			△ 3,113,099
前期正味財産額			154,648,150
次期正味財産額			151,535,051

【貸借対照表 2025年8月31日現在】

科 目		金額（単位：円）	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	152,236,252		
未収金	380,000		
仮払金	210,000	152,826,252	
2. 固定資産			
車両運搬具	459,167		
工具器具備品	612,232		
敷金	198,500	1,269,899	
資産合計			154,096,151
II 負債の部			
1. 流動負債			
仮受金	871,672		
未払金	358,600		
預り金	155,728		
当事者預り金	1,175,100	2,561,100	
2. 固定負債			
		0	
負債合計			2,561,100
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		154,648,150	
当期正味財産増減額		△ 3,113,099	
正味財産合計			151,535,051
負債及び正味財産合計			154,096,151

【財産目録 2025年8月31日現在】

科目・摘要		金額（単位：円）	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	667,107		
普通預金（三菱UFJ銀行堂島支店）	123,868,796		
普通預金（三菱UFJ銀行新宿支店）	800,000		
郵便振替	23,140,347		
普通預金（ゆうちょ銀行）	1,081,752		
普通預金（三井住友銀行）	1,542,348		
普通預金（みずほ銀行）	467,778		
普通預金（楽天銀行）	668,124		
未収金			
賛助会員受取会費未収金（カード利用）	380,000		
仮払金	210,000	152,826,252	
2. 固定資産			
車両運搬具	459,167		
工具器具備品	612,232		
敷金（東京シエルター他）	198,500	1,269,899	
資産合計			154,096,151
II 負債の部			
1. 流動負債			
仮受金（南ビッグイシュー日本）	871,672		
未払金（会費他）	358,600		
預り金（源泉所得税、外注所得税）	155,728		
当事者預り金（生活自立積立金）	1,175,100	2,561,100	
2. 固定負債			
		0	
負債合計			2,561,100
正味財産			151,535,051

【計算書類の注記】

1、重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。なお、当法人は消費税免税事業者です。

(2) 事業費管理費共通経費の按分

共通経費は業務の従事割合によって按分しています。

2、事業費の内訳

事業費内訳	生活自立応援事業			ホームレス問題等社会問題解決のための政策提案事業			活動への当事者や市民の参加応援事業	事業費計
	生活自立応援	就業応援	スポーツ・文化活動応援	若者応援と新しい仕事づくり	住宅政策提案	ギャンブル依存症問題		
人件費								
給料手当	9,298,469	1,810,726	1,345,567	1,349,347	1,947,245	339,809	2,292,966	18,384,129
臨時雇賃金	1,233,690	429,923	0	7,335,823	0	0	791,163	9,790,599
法定福利費	1,416,465	275,287	203,380	215,593	287,806	52,743	609,833	3,061,107
通勤費	758,230	188,040	109,375	163,395	110,175	22,063	166,580	1,517,858
人件費計	12,706,854	2,703,976	1,658,322	9,064,158	2,345,226	414,615	3,860,542	32,753,693
その他経費								
売上原価	0	0	0	5,674,297	0	0	0	5,674,297
業務委託費	967,752	0	0	2,101,641	0	0	200,000	3,269,393
諸謝金	134,593	0	0	722,288	23,560	0	405,000	1,285,441
印刷製本費	264,610	0	0	74,327	0	0	205,870	544,807
会議費	705,182	4,930	120,653	56,123	19,912	0	15,620	922,420
旅費交通費	918,711	30,560	694,248	1,451,732	443,458	0	5,752	3,544,461
通信運搬費	98,297	0	10,610	4,710	161,056	0	1,850,489	2,125,162
消耗品費	1,086,759	23,227	20,811	411,833	457,186	0	459,584	2,459,400
家賃（光熱費含）	1,841,323	312,678	173,710	347,420	277,936	34,742	486,386	3,474,195
賃借料	1,947,084	0	524,469	1,021,410	2,721,672	0	0	6,214,635
減価償却費	0	0	0	0	459,167	0	0	459,167
保険料	16,000	0	0	0	35,190	0	177,208	228,398
諸会費	6,000	0	0	4,000	0	0	10,000	20,000
租税公課	0	0	0	5,000	0	0	0	5,000
研修費	18,205	0	1,320	54,000	0	820	0	74,345
広報費	0	0	0	0	0	0	3,110,400	3,110,400
会報費	0	0	0	0	0	0	3,672,760	3,672,760
寄付金	270,000	0	0	0	0	0	0	270,000
衛生費	5,552	0	0	0	0	0	0	5,552
支払手数料	20,772	1,524	869	64,544	16,109	0	106,516	210,334
入居初期費用支援金	0	0	0	0	99,000	0	0	99,000
雑費	158,098	17,054	28,840	70,925	493,978	0	0	768,895
その他経費計	8,458,938	389,973	1,575,530	12,064,250	5,208,224	35,562	10,705,585	38,438,062
事業費計	21,165,792	3,093,949	3,233,852	21,128,408	7,553,450	450,177	14,566,127	71,191,755

3、当事者預り金の内訳

内容	期首残高	当期増減	期末残高
生活自立積立金	1,182,100	△ 7,000	1,175,100
合計	1,182,100	△ 7,000	1,175,100

4、役員及びその近親者との取引

科目	金額
家賃（光熱費含）	3,657,047
広報費	3,110,400
会報費	3,672,760
合計	10,440,207

監 査 報 告

1 監査の方法の概要
業務執行については、代表理事等から、現在会員数、活動内容等を聴取し、財産の状況については、損益計算書、貸借対照表の開示及び説明を受けました。他方、適宜、統勘定元帳、入金伝票、領収書、通帳の写し、郵便振替票等につき検討を加えました。

2 監査の結果
特定非営利活動法人ビッグイシュー基金の業務報告及び決算報告について、2024（令和6）年9月1日から2025（令和7）年8月31日までの監査を行った結果、客観的資料にもとづき明瞭かつ正確であって、適法であることを認めます。
なお、業務または財産に関して、指摘すべき、不正の行為または法令、定款違反の重大事実はありません。

2025（令和7）年10月29日

特定非営利活動法人ビッグイシュー基金監事
木 原 万 樹

社会を変えるのはあなたの寄付です——会員・寄付の制度について

ビッグイシュー基金の活動は、市民の方からの寄付参加に支えられています。

毎月ご指定の金額を継続的に寄付する「マンスリー寄付」、参加のかたちを表す名称をつけた5つの寄付メニューのほか、任意額でのご寄付も随時受け付けています。

■ビッグイシュー基金へのご寄付は税制優遇の対象となります

基金発行の領収書を添えて、確定申告でお手続きいただくと、納められた所得税から寄付額の4割弱が返金されます（返金の上限額は納付所得税の25%まで）。

また、一部自治体では所得税に加え地方税も控除の対象となります。

メニュー寄付

税制優遇の対象。「(寄付金合計額 - 2千円) × 40%」が税額から控除できます（確定申告が必要）。



出会い寄付
5,000 円 / 1 口 (返金額は 1,200 円)



社会包摂マラソン寄付
50,000 円 / 1 口 (返金額は 19,200 円)



つながりウォーク寄付
10,000 円 / 1 口 (返金額は 3,200 円)



市民信頼社会寄付
100,000 円 / 1 口 (返金額は 39,200 円)



実践応援ラン寄付
20,000 円 / 1 口 (返金額は 7,200 円)

- 任意額寄付 事務手続き上 1,000 円からの受付となります。
- マンスリー寄付 月額 1,000 円 × 1 口～。(HP から受け付けています)
- 法人寄付 損金算入限度額の枠が拡大されます。

* 雑誌送付などの特典はありません。毎月発行のニュースレター、年次報告書（年 1 回）をお送りします。

遺贈・相続財産の寄付

寄付された相続財産には相続税がかかりません。

税制優遇を受けられる「認定 NPO」になって 13 年の間に、31 人の方から相続税が免除される遺贈・遺産寄付をお預かりし、活用させていただいています（2025 年 8 月末現在）。

* 遺贈、相続財産の寄付をお考えの際には、お気軽に電話（06-6345-1517）・E メール（info@bigissue.or.jp）までご連絡ください。当団体の顧問弁護士へのご相談（無料）も可能です。

市民応援会員

特典があります（税制優遇はありません）。



にっこり応援会員
年会費：15,000 円（誌代相当分を含む）

【特典】『ビッグイシュー日本版』を 1 年分 24 回
毎号送付＆雑誌の「基金通信」最新号にお名前を
掲載、年次報告書の送付（年 1 回）ほか



ひとり立ち応援会員
年会費：50,000 円（誌代相当分を含む）

【特典】『ビッグイシュー日本版』を 1 年分 24 回
毎号送付＆雑誌の「基金通信」に 1 年間お名前を
掲載、年次報告書の送付（年 1 回）、パーティに
ペアでご招待（年 1 回）ほか

企業・団体「社会再生サポーター」

特典があります（税制優遇はありません）。

● キャリア再形成・サポーター会員 年会費：250,000 円 ● 社会復帰・サポーター会員 年会費：500,000 円 ● 社会再生・サポーター会員 年会費：1,000,000 円

* 『ビッグイシュー日本版』1 冊を 1 年分 24 回送付、雑誌に 1 年間お名前掲載などの特典があります（年会費に誌代相当分を含みます）。

応援・参加するには

クレジットカード決済、銀行振込、郵便振替に対応しています。詳細は基金 HP をご覧ください。

寄付で
参加する



会員に
なる



ビッグイシュー基金は、有限会社ビッグイシュー日本（※）を母体に 2007 年 9 月に設立した、ホームレス状態にある人々の自立を応援する非営利団体です。

①ホームレス状態の人、困窮者の自立を応援、②貧困問題解決に向けたネットワークづくりと政策提案、③ボランティア活動と市民参加の推進の 3 つを活動の柱に据え、貧困と社会的排除の極北にあるホームレス問題を軸に貧困問題の解決に取り組んでいます。

団体概要

- 名 称 認定 NPO 法人 ビッグイシュー基金
- 設 立 2007 年 9 月設立、08 年 4 月 NPO 法人の認証、12 年 7 月国税庁、17 年 3 月大阪府認定 NPO 法人格取得、22 年 3 月認定更新
- 所 在 地 [大阪事務所] 〒 530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2 丁目 3-2 堂北ビル 4 階
TEL : 06-6345-1517 FAX : 06-6457-1358
[東京事務所] 〒 162-0811 東京都新宿区水道町 4-28 JC 江戸川橋ビル 2 階
TEL : 03-6380-5088 FAX : 03-6802-6074
E-mail : info@bigissue.or.jp URL : <https://bigissue.or.jp/>
- 役 員 共同代表 米本 昌平（東京大学客員教授）
稲葉 剛（立教大学大学院客員教授／一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事）
- 理 事 高野 太一（ビッグイシュー基金事務局長）
蛭間 芳樹（野武士ジャパンコーチ／世界経済フォーラム ヤング・グローバル・リーダー 2015）
水越 洋子（『ビッグイシュー日本版』編集長）
- 監 事 木原 万樹子（木原法律事務所弁護士）
- 相談役 雨宮 処凛（作家）
- スタッフ 高野 太一 栗原 奈津子 野村 拓馬 佐野 ハナ 三井 泰平 中村 優太
小野 阿津美 宮崎 泰代 伊藤 美帆 福井 華奈子 西浦 耀志

（※）有限会社ビッグイシュー日本とは？

ビッグイシュー日本は、「ホームレスの人々の救済ではなく仕事を提供し、自立を応援する」ことを目的に活動する社会的企業です。質の高い雑誌をつくり、ホームレス状態や貧困状態にある人の独占販売事業とし、その売上の 50% 以上を収入にしようという仕組みをもっています。2003 年 9 月の設立から 2025 年 3 月までに 2,095 人が販売者に登録し、211 人が仕事を得て自立しました。また累計 1,019 万冊の雑誌を販売し、16 億 7,379 万円の収入をホームレスの人たちに提供してきました。

ビッグイシュー基金の最新の活動は、公式 HP よりご覧いただけます。

NPO 法人ビッグイシュー基金
公式 HP : <https://bigissue.or.jp/>



【表紙写真】

- 1：夜パンカフェ「エダモンメモリアル」（東京）
- 2：雑誌の路上販売の仕事を応援
- 3：ホームレス W 杯ノルウェー大会
- 4：大阪ホームレスクリスマスパーティ（大阪）
- 5：一時居所「あまやどりハウス」餅つき（大阪）
- 6：事務所での生活相談（東京）
- 7：「歩こう会」150 回記念イベント（大阪）
- 8：料理サロンでたこやきづくり（大阪）

Photo（1・6）：浅野カズヤ

Photo（4）：草田康博

Photo（7）：木下良洋



第 18 期 年次報告書

2025 年 11 月 15 日発行

認定NPO法人ビッグイシュー基金

（大阪事務所）〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2丁目3-2 堂北ビル4階
TEL：06-6345-1517 FAX：06-6457-1358

（東京事務所）〒162-0811 東京都新宿区水道町4-28 JC 江戸川橋ビル2階
TEL：03-6380-5088 FAX：03-6802-6074

E-mail：info@bigissue.or.jp

URL：https://bigissue.or.jp/

編集：中村未絵